

令和元年度 練馬区地域おこしプロジェクト選定事業の評価について

団体名	ノースファミリー実行委員会
事業名	くしもねり・かわら版>みんなで創るよ！宿場の絆！！

1 令和2年度の事業継続

[可 ・ 不可] とする

2 令和元年度の実績

[活動実績]

①『くしもねり・かわら版』（以下、『かわら版』）（第3～第5号）発行（各10,000部）

※紙面内容の見直し／有料広告の開始

②SNSによる情報発信（Facebook投稿87件、Twitter投稿80件）

③アンケートによる読者ニーズ調査

※北町1～3丁目在住の約7,000世帯対象、回答206件

[賛同者、協力者]

①Facebook フォロワー（100人） ※前年比約50人増

②『かわら版』紙面参加者（体験記者計6組／読者投稿計19件）

3 令和元年度の評価

昨年度の課題に対して、アンケート実施による読者ニーズの把握や、写真投稿による気軽な紙面参加の機会づくりなど、団体として真摯に取り組んできたことが紙面を通して伝わります。また、地道に活動を続けてきたことで、ノースファミリー実行委員会の支援者や、『かわら版』の認知が徐々に上がってきたことも2年目の成果と言えます。

しかしながら、読者に関心を持ち続けてもらうためには、年3回の現在の紙面発行回数では間隔が開き過ぎます。引き続きFacebookやTwitterなどのSNSも活用しながら、こまめな情報発信を心がけてください。

また、単に情報発信だけに留まっていたのでは住民の地域参加は見込めません。住民が地域の活動や行事に主体的に関わりたくなるような働きかけをしていくことが大切です。そのためには、地域の活動に意欲的な住民を巻き込み、彼らが持つネットワークや発想力を取り込んでいくことも有効です。

令和2年度は、4年目以降の継続的な運営に向けて足元を固めていく年になります。活動開始に当たり、団体がターゲットとするのは具体的にどのような住民層なのかを明確にし、今一度、活動目標の整理に取り組んでください。

最大の課題は区の補助金終了後の活動継続体制です。『かわら版』は、編集・印刷・配布方法の工夫により継続発行できると思います。北町の特徴を活かしたコミュニティ醸成という目標達成のため、専門家による経営相談を活用し、活動内容や体制づくり確立を図ってください。期待しています。